



# 天草

市政だより

日本の宝島 “天草”の創造を目ざして！

平成22年

10.1

No.108



**どう？キレイ！衣装も心もきらびやかに！**

9月5日、栖本町の栖本福祉会館で「あまくさシルバーファッションショー」が行われました。フォーマル部門に出場した大崎イマ子さん(今釜町・写真中央)は、「きれいにさせていただいてよかった。今後もファッションには気を使っていこうと思います。また、出場された人たちとのふれあいもあり、本当に楽しかったです」と話していました。(13ページに関連記事)。

主な内容

- キーワードは“感謝”と“思いやり”…2～9
- 市職員の人数や給与などを公表！…10～11
- 宝島のわだい……………12～15
- みんなの広場など……………16～19

# キーワードは “感謝”と“思いやり”

～身近なことから男女共同参画社会を考える～

「男女共同参画社会」とは、性別によって生き方が決められるのではなく、個性や能力に応じた生き方を選択でき、男女がともに責任も分担する社会のことです。



9月1日、天草市役所で「男女共同参画社会づくり」をテーマに意見交換会が行われました。出席者は男女共同参画審議会会長の丸田光二さん、男女共同参画推進ネットワーク・つんのでネット～風～会長の磨田泰子さん、内閣府男女共同参画ヤングリーダー会議に出席した石井麻耶子さん、家事・育児体験を通して男女共同参画社会の大切さを実感した池田和浩さんの4人。女性を支援する拠点施設の重要性、生活の中で男女共同参画の視点を持つことの大切さなど、さまざまな意見交換が行われました。今号では意見交換会のようすをお知らせします。

## 男女共同参画社会づくりの活動へ かかわるようになったきっかけ

丸田 寸劇を通して男女共同参加を楽しむ、わかりやすく伝える「ジョイナスあまくさ」という団体に誘われたのがきっかけです。その後、県が募集した男女共同参画社会づくり地域リーダー研修に参加し、男女共同参画の大切さを実感しながら、市の男女共同参画審議会会長を務めています。

磨田 市職員時代に、農村女性の男女共同参画という仕事に携わったのがきっかけで、その後、ずっと男女共同参画社会

づくりの活動にかかわっています。熊本市内で開催されるセミナーなどにも個人的に参加し、市の男女共同参画室で条例や計画づくりにも携わりました。また、当時、男女共同参画を推進する団体「つんのでネット～風～」の設立にもかかわり、いろいろな思い入れもありましたので、現在会長を引き受けているところです。活動内容はいろいろと模索中ですが、会員の思いが形になるような団体に作り上げていきたいと思っています。

石井 2年前に熊本市内から天草へ帰郷しました。友人たちは子育てに忙しく、高校を卒業してすぐに天草を離れたので、知り合いもほとんどいませんでした。天草も合併して変わっていったこともあり、まずは天草のことを知ろうと市のホームページを見ました。そこで、先ほど丸田さんが応募された地域リーダー研修という記事を見つけ、「男女共同参画って何だろう」と興味を持って勉強してみると、知らないことがたくさんあることに気づきました。

難しそうだけれども大切なことなんだという思いがわき、「皆さんと知り合いになれる、新たな学びがある」と思っ応募したところ採用していただきました。

一人では何もできないけれども、「With Amakusa」という団体や、つんのでネット～風～の会員として活動を見つけ、皆さんと交流することで『知らないことを知る』という経験を積み重ねて

いるところです。

池田 昨年、妻が体調を崩し、長期入院をしました。小学校一年生（6歳）、4歳、2歳の子ども3人の育児と家事を周りの皆さんの協力を得ながら行う中で、男性の育児、家事へのかかわりについて大切なことだと意識するようになりました。このような生活状況の中で、市のホームページを見ていたところ男女共同参画を推進する「つんのでネット～風～」というネットワーク団体を探すことができ、入会させていただきました。

現在の職場が高齢者介護の施設なのですが、高齢者の介護と子どもの育児は通じることがあると思っています。

介護、育児、家事の中心は、現在もまだ女性を中心だと思っています。育児休業や介護休暇なども取得者はほとんどが女性です。自分の経験からすると、これまで男性があまり目を向けてこなかったことにも、これからはもっと男性が積極的にかかわっていくことが大切だと思っています。

## 女性を支援する拠点施設が必要

丸田 先ほど、子育てのことで池田さんからお話がありました。私自身、消防士という職業柄、天草管内での異動があります。



平成19年9月29日に行われた男女共同参画推進ネットワーク・つんのでネット～風～の設立総会

男女共同参画社会づくり意見交換会に参加された石井麻耶子さん、丸田光二さん、磨田泰子さん、池田和浩さん（左から）

合併して市には、子育て支援課ができましたが、合併以前は各地に子育て相談の専門部署もなく、結婚して天草へ来た女性が育児相談をはじめ、つながりを持つうと思っても、どこに相談に行けばいいのかわからずに、児童館などを頼っていたという話も聞きました。

今感じているのは、女性が抱えている悩みを相談できる場所とか、女性だけの運動施設というのがありませんので、女性が気軽に訪れることができる施設や女性を支援する拠点が必要だと思います。磨田 確かに、女性だけが利用できる施設はないですね。家庭や職場、さまざまな組織においても、社会はまだ男性が中心であることは否めません。これから男女がともに能力を発揮していくためには、女性が乗り越えなければならぬ壁はたくさんあります。こうしたときに、女性が気軽に集まって話す場所があれば

本音の話もできません。顔を見ながら人がコミュニケーションをとってつながり合うためにも、拠点となる場所は絶対に必要だと思えます。

石井 地域リーダー研修で東京に行ったとき「女性と仕事の未来館」という施設を見学させていただきました。保育士や弁護士などスタッフも充実していて、気軽に無料で女性が相談できる場所でしたので、魅力的だなと感じたことを覚えています。

（社）天草宝島観光協会のスタッフとして、天草宝島国際交流会館ポルト内にいますが、例えば男女共同参画室で行われているNPOセミナーについても、興味があるという女性もたくさんいます。

集まった人たちがネットワークを作ることでもできますし、話をする事で自分が知らなかったことを知ることができ、学びにもなり、次のステップにつながると思います。



磨田 泰子さん  
(本町本)

男女共同参画推進ネットワーク・つのでネット～風～会長。平成5年度に男女共同参画地域リーダー研修に参加。元天草市男女共同参画室長。

### 育児・家事への男性の積極的な参加を

#### 積極的な参加を

丸田 相談ができれば今社会問題となっている「虐待」も減っていくと思いますね。

池田 育児に対する精神的不安や疲れから、痛ましい事件が続いています。先ほど、



池田 和浩さん (天草町大江)

特別養護老人ホーム春光苑勤務。妻の入院をきっかけに男性の育児、家事への参加の大切さを実感。男女共同参画推進ネットワーク・つのでネット～風～会員として昨年入会。



石井 麻耶子さん (下浦町)

昨年11月に行われた内閣府男女共同参画局主催の全国ヤングリーダー研修に熊本県内を代表して参加。With Amakusaの会員としても積極的に男女共同参画に活動中。（社）天草宝島観光協会勤務。

高齢者介護と育児は相通じるものがあると話しました。高齢者介護には介護する人をケアするショートステイなどといった事業がありますが、育児に関してのショートステイというのはないですよ。保育所の一時保育、休日保育、放課後児童クラブといったことは市にもあると思いますが、保護者が病気のときや育児に疲れたとき、子どもを1泊2日、2泊3日などで預かれるところはありませんよね。そういう事業や施設が市にもできればと思います。

それから、妻の入院中にやっぱり一番苦労したのは夕食づくりですね。3人の子どもを保育所や小学校へ迎えに行つて、帰つて「さあ何を作ろう」と思うと、これまで妻に任せてきた家事のたいへんさを実感しました。たいへんなあまり、つい子どもにも強い口調で怒鳴ったりすることもありました。一番上の子ども



丸田 光二さん  
(本渡町本戸馬場)

男女共同参画審議会会長。天草広域連合中央消防署・御所浦分署長。平成16年度に男女共同参画社会づくり地域リーダー研修に参加。男女共同参画を推進する団体・ジョイナスあまくさ代表。

が、「お父さんもたいへんだけん言うこときかんば」と弟や妹を諭してくれたときは、本当に涙が出るくらいうれしかったですし、近所にいる姉や義母の協力で、食卓に一品でも、二品でも並んでいたときのありがたさ。これには本当に感謝しましたね。

料理は好きですが、やはりこれが毎日というのは本当にたいへんです。育児や家事についても、やはり男性の協力というのは必要ではなく、必然だと思っています。

磨田 ふだんの生活の中でも、男女共同参画の視点で見えてしまうことも多くあります。以前は、男性が一人で買い物や掃除など、恥ずかしそうに店内を歩かれています。最近では年代にかかわらず一人で来て、欲しい品物を手ざわよく買い求めて行かれる姿を見ると、男女共同参画も少しずつ進展しているのかなと感じています。ほかにも、幼稚園で月に1回、未就園児親子といっしょにふれあう子育て支援事

業「にこりんぐママ」にボランティアで参加していますが、若い世代の男性の育児参加も以前よりはるかに増えているという気がします。

不景気で仕事も忙しく、共働き世帯も増えている時代だからこそ、お互いの協力が必要であり、お互いが協力することで少しでもゆとりができれば、子育てにおいてもお互いに考える時間も増え、ひいては社会問題となっている虐待などもなくなると思っていますね。

池田 男性の料理教室なども行われていますが、育児についても例えば「お父さんの育児の日」などを決めてイベントを開催して、もっと男性の育児参加を促すようにするとおもしろいかもかもしれませんね。

あと、一時保育事業は、保育所の開園時間の利用しかできません。社会福祉協議会で行われている、「ファミリースポーツセンター事業」というのも聞いたことがあります。

ますが、もっと広く周知していただき、市民が利用しやすい制度として、再度考えていただきたいと思います。

### 社会全体で仕事と家庭の両立支援を

石井 同世代の女性は子どもを授かったときに、仕事と家庭をどう両立していくかという悩みに直面しています。「仕事は続けたい、けれども子どもを面倒見てくれる親が近くにいない」といった場合、保育所に預けたとしても病気などのときには、やはり「自分が面倒を見ることになる」というジレンマがあるようです。

企業においても、出産を機に辞める女性を引き止めないことは、本人にとってみれば「会社には必要とされてなかったのかな」という気持ちになりますし、彼女たちが経験して得た仕事のノウハウというものは『財産』ですよ。人を育てるといことは何十年もかかりますし、すごい能力があるにもかかわらず、子育てをしながらでも働きたいと思っても、働いていない女性たちをみすみす手放すというのは、会社にとっても大きな損失だと思います。子育てをしながらでも安心して働ける会社や社会づくりというワークライフバランスをもっと考えていくと、日本全体がもっといい社会になると思います。

### 意識を変えることの難しさ

磨田 つんのでネット（風）には、男女共同参画を推進する団体や企業の女性グループ、天草信用金庫ウーマンネットワーク委員会など団体会員として19団体、個人会員が31人所属しています。それぞれの団体は、ふだんは講座や研修など特色ある活動を行いながら、つんのでネット（風）として事業を取り組むときは、協力をいただいています。昨年9月には映画「老親」の上映会をはじめ、今年2月には女性参政権運動に活躍された市川房枝氏のパネル展の開催、最近では北京JACという全国規模の大会が開催されたときに、天草へのサプライズツアー受け入れにも協力していただきました。

活動を通して感じることは、一つの事業を乗り越えたときに、役員や会員が「やって良かった、がんばって良かった、ありがとう」ということを口々に話されているとネットワークの大切さや、存在のありがたさなどを感じますし、それをどう次につなげていくかがカギだと思っています。ただ、ネットワークの中でも地域でも「意識を変えることの難しさ」というのは日々感じています。

池田さんはパートナーの入院を通して、大切なことに気づかれたのだと思います。男女共同参画社会を作っていくというの

とはできません。やっぱりみずから動いて、行動に移すことで力がついていくと思います。

磨田 団体に所属する会員それぞれが、自分が目指したい姿というのがあって思うので、それに向かって活動を行う仕掛けづくりを考えていきたいと思っています。

自分の目標に向けて課題を解決していく活動であれば、皆さんも意識が高いと思いますので、同じ志を持った人々が小さくても深い交流を進めていくことが必要だと思います。今後も、会員募集の啓発や、多くの人が参加できる時間帯でのネットワーク会議なども考えていきたいと思っています。



丸田 父親の育児参加を促す活動、高齢者の男女共同参画を考える活動、企業での男女共同参画を進める活動などに、ターゲットを絞った活動というのは大切だと思っていますね。

石井 昨年11月に、内閣府男女共同参画局が主催する男女共同参画ヤングリーダー会議に参加しました。20歳代から40歳代の66人が、全国から集まりました。

自営業、主婦、介護経験者、会社員、NPO法人代表など、職業も多彩にとんだメンバーで、男女共同参画について語り合う会議でした。地域のリーダーとしてどんどんやっているとより、大切なことだから学ぶというメンバーが多かったのですが、「自分の体験から男女共同参画をこう進めたい」「男女共同参画というには必要ではなく必然なんだ」という力強い言葉などもあり、すばらしい意見交換ができました。

当時の男女共同参画担当大臣も、自分の子育て経験などを通して、男女共同参画の大切さを話されましたし、「各都道府県に同世代の同じ志を持ったメンバーがいて、コミュニケーションが取れるというのは、将来大きな財産になるよね」と時が経つのも忘れるくらい延々と話していました。本当にいい刺激になりましたね。

磨田さんの話の中に、ネットワークの大切さということもありましたが、いろいろな専門分野の人と出会えたことで、何か問題があったとき、あるいは知りたいことが



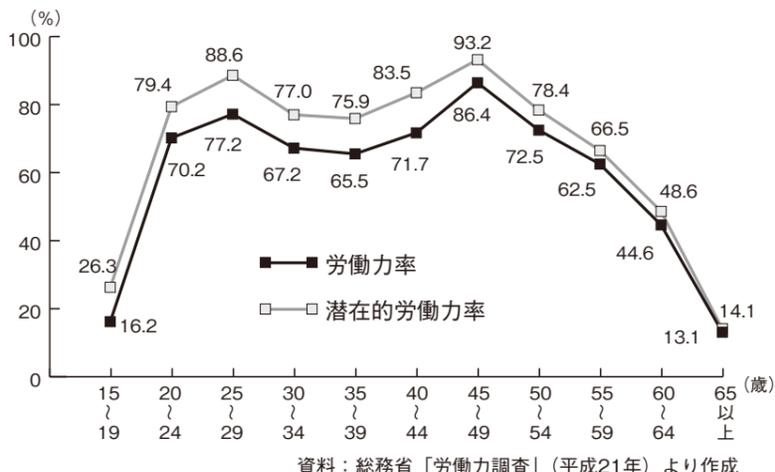
※市内の市立保育所（20カ所）、私立保育所（37カ所）における開所時間や入所年齢、障がい児保育、一時保育、休日保育などの特別保育事業は各保育所で異なります。各保育所または本庁・子育て支援課 ☎ 1111 内線1178へお尋ねください。

は、このような「気づき」を多くの人が持つということだと思います。市でも、男女共同参画についての講座やセミナーがたくさん実施されています。多くの人が参加し、身近なところにある問題に気づきを持っていただきたいと思いますね。

### 人は財産、仲間は力

石井 地域リーダーの研修終了後、参加者には「個人でもいいし、グループでもいいので何か一つ形づくりを」という宿題が課せられました。研修では、講座やセミナーといった聴講が多かったのですが、いざ自分が何かをやるとなると本当にたいへんです。でも学びだけでは、力をつけていくこ

表1：女性の年齢階級別潜在的労働力率



女性の労働力率は、年齢階級別にみると30歳代を底とするM字カーブを描き、結婚、出産、子育て期に就業を中断する女性が多くなっています。就業希望者を労働力人口に加えて算出した潜在的労働力率では、M字カーブの底は浅くなります。

あったとき、「あの人に聞こう」という人脈づくりができたことも大きな財産になりました。男女共同参画ということを通じて、え、人生の視野が広がった、あんな夜はなかったなと思います。その会議の中で「介護」について語った人がいらっしやいました。介護のたいへんさというところは、私たちの年代はピンとこないところもありますが、その人は男女共同参画を学んで、介護のたいへんさから救われたと話していました。

**介護・子育ては気持ちにゆとりを持って**

池田 10年前、母の介護のために事業所の施設長の理解もあって、30日間の介護休暇を取得しました。病院で1カ月付き添いながら、主治医から余命がわからないという話があり、母の希望もあって自宅へ連れて帰り、兄弟や周囲の協力を得て40日間自宅で介護し、母の最期を見届けることができました。そのときも多くのことを学びました。介護についても、親の老いていく姿を直視できないということも、理由の一つにあると思いますが、夫の親であってもお世話には、圧倒的に女性が携わるケースが多いのではないのでしょうか。介護サービス制度や介護休暇制度も活用しながら、介護についても男女共同参画というのを考えていくことは、大切なことだと思います。

介護と育児が相通じるといふ話に戻りますが、介護は高齢者の残りの人生を介護する側、される側で共有する大切な時間だと思えますし、最期を『いかに幸せな死で迎えることができるか』ということに尽きると思います。一方、育児や子育てというのは、未来ある子どもたちの人格を形成していく大切な時間だと思えます。いずれもかわる人、かわり方によって大きく違ってくると思います。

かわりには、目配り、気配り、心配りが大切だと思います。

「虐待」や「高齢者の年金を子どもたちが勝手に使う」といったことが社会問題になっていきます。振り返ってみると戦後、働け、働けということ、子育てにゆとりがなかった時代だったと思います。気持ちにゆとりがないと、相手にもゆとりをもって接することはできないと思いますね。

池田 仕事をしながら家事や育児、介護というのは本当にたいへんです。ただ、例えば介護施設などでは入所者に食事を提供します。勤務する職員も今日はちょっと夕食の料理が一品、二品欲しいなというときは予約して、料金を払って購入できるといふシステムなどもあれば、家事への負担も軽減されるという考えを持ったこともありますね。わが家に帰り、食卓に料理が並んでいたときのうれしさは感謝、感激です。

**男女共同参画の原点は**

**感謝と思いやり**

石井 7年前に妻を亡くされた77歳になる男性の自宅へお邪魔したとき、「私は妻が亡くなるまで当たり前のように料理をつくってくれていたこと、当たり前のように家事を行っていたことに対して、ありがとう」といふ言葉を掛けたことがなかった。亡くなってはじめて存在の大きさを感じたし、本当に妻に申し訳ないことをした」と

涙を流しながら話されたことを思い出しました。食卓に毎日当たり前のようになぶ料理のありがたさ。池田さんはみずから体験によって、それに気づかれたことはとても良かったのではないかなと思います。その高齢者の人は、本当に後悔していると話されていました。一人残された男性の本音が、つい出たのかなと思いましたが、おじやましたときに作っていただいた料理に対して「ありがとう。おいしいですよ」といふ言葉を掛けたところ、涙を流しながら「ありがとう」といふ言葉が、こんなにうれしくて、大切なことをあらためて気づいた」と妻の位はいに手をあわせる姿を見て、男女共同参画を考える中でもっとも大切なことは、感謝や思いやりなのだ切実に思いました。



磨田 そうですよ。心のこもった「ありがとう」は本当にいい言葉ですよ。ね。「ありがとう」で救われることってたくさんあると思います。感謝や思いやりの心は、男女共同参画の原点ですね。

池田 亡くなってからでも、妻への感謝の気持ちに気づかれたのは良かったと思います。こうした気づきを与えることや、相談の受け入れなどをつんでネット〜風〜には、たくさんの方がいらつしやると思えますので、皆さんが「ああ。つんでネット」に聞けば何とかなる」といふようなネットワーク団体になればいいなと思います。

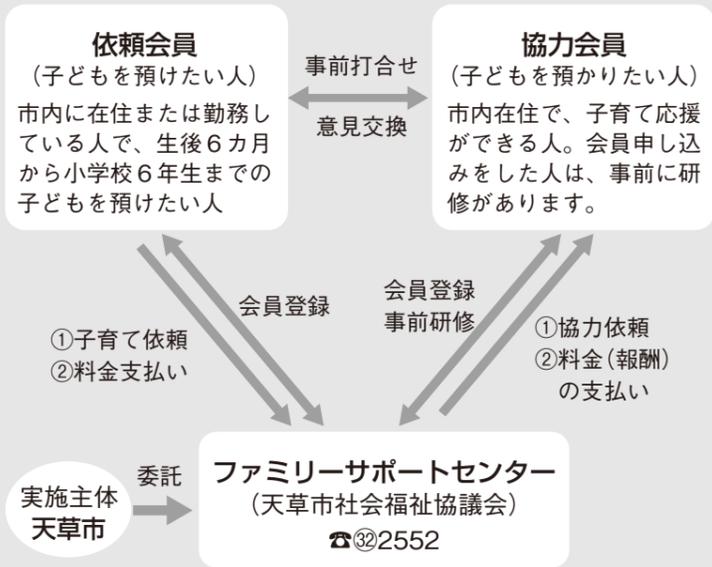
丸田 先ほど、人材育成の話もでしたが、仕事で人を育てていくには15年かかると言われています。介護や育児に関して、職場の理解をもっと進めていくということも大切ですし、人材という点ではつんでネット〜風〜には専門性の高い経験、知識を持った人、職業、社会的キャリアも豊富な人がたくさんいらつしやいますので、そういう人の活用、生かし方というののもこれから考えていく必要がありますね。

磨田 つんでネット〜風〜として、一つの方向性を示していただきました。ありがたいなと思います。今日、池田さんにお会いし、つんでネットとして「子育て」というテーマをもっと考えていく必要があるのかなと思いました。それから大きなつながりも必要ですが、「子育て」「介護」「地域づくり」といった分野に特化したつながり

子どもを預けたい人（依頼会員）と預かりたい人（協力会員）とてつくられる会員組織です。

**天草ファミリーサポートセンター**

**ファミリーサポートセンターのしくみ**



**■利用料金 (1時間)**

- 月曜～金曜日 (午前7時～午後8時)… 600円
  - 土・日曜日、祝日や夜間など (上記以外の時間)…… 700円
- ※利用料金の半額は市が助成。



**【問い合わせ先】**

天草市社会福祉協議会 ☎2552  
本庁・子育て支援課子育て支援係 ☎1111内線1178

**市の取り組み**

りを深め、意見交換、交流、活動を深めていくことも大切だと思っています。

丸田 市では、平成18年12月に「男女が共に生きる社会づくり条例」のほか、平成20年度から4年間の「男女共同参画計画」を策定して、男女がともに輝くまちづくりを進めています。男女共同参画審議会の委員として、これらの制定に最初からかわつてきましたが、啓発の難しさというのは常に感じています。しかし、今日の意見交換会ではすばらしい情報交換ができたと思いますし、今年度は男女共同参画に関する市民意識調査も実施されますので、その結果を踏まえて、次の計画策定ということになると思います。多くの皆さんが男女共同参画社会づくりの大切さを感じていただければ、行政と市民が協働で進めていくことが大切だと思います。そして、行政の横のつながりをもっと強化し、NPOをはじめとする市民活動団体のネットワークをいかして、市民が起点的施策づくりを男女共同参画審議会としても、行政とともに作り上げていきたいと思います。

※男女共同参画社会づくりについての詳細は、本庁・男女共同参画室 ☎1111内線1317へお尋ねください。

③職員の初任給・平均年齢・平均給料月額状況（平成22年4月1日現在）

区分	初任給	平均年齢	平均給料	区分	初任給	平均年齢	平均給料	
一般行政職	大学卒	172,200円	44.1歳	329,096円	高校卒	137,200円	50.9歳	322,698円
	高校卒	140,100円			中学卒	129,200円		

④職員手当の状況（平成22年4月1日現在）

区分	内容	区分	内容																
扶養手当	○配偶者……13,000円 ○その他の扶養親族…1人6,500円（16歳～22歳の子は1人につき5,000円を加算）	時間外勤務手当	○勤務時間外に勤務した場合に支給																
	地域手当	○物価や生計費が特に高い地域に勤務する職員に支給（平成22年度は、東京都に勤務する職員に給料と扶養手当の18%を、福岡市に勤務する職員に同10%を支給）	夜間勤務手当	○正規の勤務時間として、午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務した場合に支給															
住居手当		○借家の場合……家賃の額に応じて27,000円を限度に支給 ○持家の場合……2,500円	初任給調整手当	○病院・診療所に勤務する医師に、採用の日から一定期間、月額410,900円以内を支給															
	通勤手当	○交通機関を利用する場合……運賃額を支給（上限55,000円） ○自動車などを利用する場合……片道2km・1,400円から距離が2km増すごとに1,400円を加算した額を支給（上限42,000円。2km未満は支給なし）	宿日直手当	○医師……20,000円 ○看護師……5,900円 ○その他……4,200円															
単身赴任手当		○単身で赴任する職員に、天草市からの距離に応じて23,000円～68,000円を支給	特殊勤務手当	○市税の課税・徴収や社会福祉事務などの特殊な業務に従事する職員に月額200円～月額4,000円を支給 ○医師研究手当…給料の100分の150以内を支給 ○夜間看護や放射線取り扱いなどの業務に従事する職員に1回2,000円～月額10,000円を支給															
	管理職手当	○事務などを管理・監督する職員に支給（同じ職務の職員の平均給料に次の率を乗じた額…部長級10%、課長等8%、看護師長6%、審議員4%。給料に次の率を乗じた額…院長・診療所長20%、副院長12%、薬局長・診療科長・看護総師長8%）		期末・勤勉手当	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>期末手当</th> <th>勤勉手当</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月期</td> <td>1.25月分</td> <td>0.70月分</td> <td>1.95月分</td> </tr> <tr> <td>12月期</td> <td>1.50月分</td> <td>0.70月分</td> <td>2.20月分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2.75月分</td> <td>1.40月分</td> <td>4.15月分</td> </tr> </tbody> </table>		期末手当	勤勉手当	合計	6月期	1.25月分	0.70月分	1.95月分	12月期	1.50月分	0.70月分	2.20月分	合計	2.75月分
		期末手当	勤勉手当		合計														
6月期	1.25月分	0.70月分	1.95月分																
12月期	1.50月分	0.70月分	2.20月分																
合計	2.75月分	1.40月分	4.15月分																
退職手当		自己都合	勤続20年	23.50月分	30.55月分														
			勤続25年	33.50月分	41.34月分														
			勤続35年	47.50月分	59.28月分														
			最高限度	59.28月分	59.28月分														

⑤特別職の報酬等の状況（平成22年4月1日現在）

区分	特別職（給料）				議員（報酬）		
	市長	副市長	教育長	企業管理者	議長	副議長	議員
月額	870,000円	665,000円	605,000円	665,000円	407,000円	366,000円	348,000円
期末手当	6月期：1.45月分、12月期：1.65月分、計3.10月分						
退職手当	在職1月につき				なし		
	給料の100分の50	給料の100分の30	給料の100分の15	給料の100分の30			

③職員の分限・懲戒処分（平成21年度）

①分限処分・休職（心身の故障）= 8件 ②懲戒処分= 0件

【問い合わせ先】本庁・総務課人事研修係 ☎1111内線1222

# 市職員の人数や給与などを公表！

市では、「地方公務員法」に基づいて定めた「天草市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」により、市職員の人数や給与など、市役所の人事に関する状況の概要を公表します。  
なお、より詳しい状況については、市役所本庁や各支所の掲示板に掲示するほか、市のホームページにも掲載します。

## 1 職員の任免・職員数

### ①職員の任免の状況

区分	平成21年4月1日現在の職員数	21年4月2日～22年3月31日		平成22年4月1日現在の職員数
		採用	退職	
人数	1,388人(13人)	4人	72人	1,347人(27人)

※（ ）内は、職員数のうちその年の4月1日に採用された職員の数です。  
※平成22年4月1日採用は、一般事務7人、教育委員会指導主事3人、病院医師6人、看護師6人、建築士3人、看護教員2人です。

### ②部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

部門	区分	職員数		対前年増減数	部門	区分	職員数		対前年増減数		
		平成21年	平成22年				平成21年	平成22年			
普通会計部門	一般行政部門	議会	6人	6人	0人	普通会計部門	教育部門	200人	194人	△6人	
		総務	289人	281人	△8人		公営企業等会計部門	病院	184人	184人	0人
		税務	82人	70人	△12人			水道	41人	39人	△2人
		民生	181人	174人	△7人			下水道	23人	21人	△2人
		衛生	115人	111人	△4人			その他	51人	50人	△1人
		労働	2人	2人	0人			小計	299人	294人	△5人
		農林水産	112人	114人	2人						
		商工	28人	25人	△3人						
		土木	74人	76人	2人						
		小計	889人	859人	△30人	合計	1,388人	1,347人	△41人		

（※△はマイナス）

## 2 職員の給与

### ①人件費の状況（平成21年度 普通会計決算見込額）

区分	住民基本台帳人口 (平成22年3月31日現在)	歳出額 A	人件費 B	人件費率 B/A	(参考)20年度の 人件費率
21年度	93,098人	578億5,559万8千円	103億5,711万8千円	17.90%	21.92%

※人件費には、特別職や議員、各種委員、一般職員に支給する給料や各種手当、退職手当、共済費（民間企業では社会保険料の事業主負担分に当たるもの）などが含まれています。  
※また、普通建設事業費などにかかる人件費も含まれています。

### ②職員給与費の状況（平成21年度 普通会計決算見込額）

区分	職員数 A	給与費			合計 B	1人当たりの給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当		
21年度	1,053人	42億8,215万3千円	6億2,569万円	16億4,715万3千円	65億5,499万6千円	622万5千円

※職員手当には、退職手当は含まれていません。  
※期末・勤勉手当とは、民間企業のボーナスに当たるものです。

# わだいな



ドレス・タキシード部門に出場した浦田正俊さん(御所浦町)と岩下モリコさん(同)



## あまくさシルバーファッションショー 栖本

### 化粧やおしゃれでさらにイキイキ!

9月5日、「あまくさシルバーファッションショー」が栖本福祉会館で開かれました。これは、市社会福祉協議会が、化粧やおしゃれをすることでさらにイキイキとした気持ちを持って外出してもらおうと、初めて開催したものです。イベントには、袴・着物、ドレス・タキシード、カジュアル、スポーツ、フォーマルの各部門に、市内各地から75歳以上の男女35人が出場。スポーツ部門に出場した樋口恵美子さん(栖本町)は、「こんなに緊張したのは久しぶり。でも、スポットライトを浴びながらじゅうたんの上を歩くのは気持ちよかった」と笑顔を見せていました。

「どう?キマってる?」ポーズを決める樋口さん(右)と水本キヌヨさん(御所浦町・左)



## 内野川学習会

五和

### ふるさとの川の生物探検

9月6日、手野小学校4年生の児童8人が参加して「内野川学習会」が開かれました。これは、手野まちづくり振興会と同校が、子どもたちにふるさとのすばらしさを感じてもらおうと実施しているもので、今年で2回目。児童たちは、地元の松下正志さんから川に生息している生物の生態について説明を受けたあと、網を手にして川の中を約1kmにわたり探検。フナやムギツクなどのほか、清流に生息するといわれているカワムツを捕獲していました。



▲熱心に川の生物を探す児童たち



▲泥しぶきをあげながらビーチボールをつかむ子ども

## しんわどろリンピック 新和

### 泥まみれって何だか楽しい!

8月22日、「選手が跳べば泥が飛ぶ! 歓声のとぶ」をキャッチフレーズに、「第5回しんわどろリンピック」が新和小学校横の水田で開催されました。市内外から20チーム・120人が参加したミニバレーの部では、選手たちが泥まみれになりながらも、笑顔でハッスルプレーを繰り広げて大にぎわい。また、小学生を対象にしたビーチフラッグの部では、子どもたちがフラッグに見立てたビーチボールを目がけて、泥しぶきをあげながら元気に走っていました。

## 天草東高校生徒たちによる清掃活動 有明

### 地域に恩返しを!

天草東高校(山下照喜校長・全生徒27人)の生徒と職員あわせて15人が9月2日、大浦公民館で館内のトイレ清掃を行いました。これは、上天草高校(上天草市)への統合を平成24年に控え2・3年生のみとなった同校が、これまでお世話になった地域に恩返しをしたいという思いで取り組んだもの。この日生徒たちは、事前に学んだ清掃方法や心構えをいかして、たわしなどを使いながら熱心に清掃を実施。参加した2年生の岩本健吾さんは、「これまでお世話になった地域に少しでも恩返しができる」と額の汗をぬぐいながら話していました。同校では、今後も町内にある公共施設などの清掃活動を行う予定です。



▲気合いを入れて掃除に取り組む生徒たち



▲熱心にトイレの清掃を行うようす



▲園児と楽しくふれあう生徒たち

## 天草中学校職場体験 天草

### いろいろなお仕事あるんだな

9月13日から同17日まで、天草中学校2年生による職場体験学習が行われました。これは、仕事に対する責任や厳しさを体験し、勤労の尊さを理解することなどを目的に、毎年実施されているもの。期間中は同校の生徒31人が、市役所・天草支所など、町内16の事業所で体験を実施。しらさぎ保育園で職場体験を行った倉田菜弥さんは、「はじめは緊張して疲れたけど、園児の元気で明るい雰囲気ですぐに慣れました。子どもが好きなので、将来の仕事の参考にしたい」と話していました。

## 御所浦地区敬老会 御所浦

### いつまでも元気に長生きしてください!

9月12日、御所浦島開発総合センターで「御所浦地区敬老会」が開かれ、77歳以上の住民と今年金婚式やダイヤモンド婚式を迎える夫婦あわせて56人が参加しました。これは、御所浦地区振興会が毎年開催しているもの。同会では、金婚やダイヤモンド婚の表彰が伝達されたあと、地元の保育園児や中学生による踊りのほか、文化サークルが大正琴などを披露。参加者は、ふるまわれた料理に舌鼓を打ちながら、出し物の披露を楽しんだりカラオケで歌うなど、楽しいひとときを過ごしていました。



▲大正琴の披露を楽しむ参加者

## 熊本大学サークル“青い鳥”夏季巡回公演

### 人形劇や壁画の製作を楽しむ

8月30日、天草宝島国際交流会館ポルトで、人形劇や紙芝居などを行う熊本大学のサークル“青い鳥”の夏期巡回公演が開かれ、親子連れなど約100人が参加しました。これは、子どもたちの情操がより豊かになることを目的に、同館では初めて開催されたもの。公演では、「インディックの冒険」や「おとぎの国のアリス」と題した人形劇が披露されたほか、参加者全員で壁画の製作も実施。この壁画は、同館の地下広場に10月末まで展示される予定です。



▲熱心に人形劇を見る参加者



▲操作を行う準優勝に輝いた“牛深方面隊”の選手

## 熊本県消防操法大会

### 牛深・五和方面隊が小型ポンプ操法で大健闘！

8月22日、消防技術の正確さとスピードを競う「第28回熊本県消防操法大会」が、荒尾市の荒尾運動公園で開催されました。この大会には、県内の消防団から小型ポンプの部に25チーム、ポンプ車の部に18チームが参加。本市からは、小型ポンプの部に牛深・五和方面隊の2チームが出場し、牛深方面隊が準優勝、五和方面隊が3位と大健闘しました。また、優秀選手賞を牛深方面隊の1番員・宇左美健志さんと3番員・山見勇成さんが受賞しました。

## 金婚夫婦表彰

### いつまでも元気で仲良く

第52回熊日金婚夫婦表彰が行われ、本市では今年、金婚式を迎えられた228組のご夫婦が表彰を受けられました。天草地区では、9月5日・12日・20日に各地区振興会主催で開かれた敬老会で、同表彰の伝達式を実施。熊本日日新聞社から表彰状と記念品が、市から夫婦湯のみなどが贈られました。表彰を受けられた大江地区の富澤盛和さん・利津子さんご夫婦は、「これからも夫婦円満で、助け合っていきたいと思います」と笑顔で語っていました。



▲表彰を受ける富澤さんご夫婦



▲光り輝く地図をながめる来場者

## 輝け！天草

### 光る巨大天草地図が出現！

8月21日から同29日まで、天草キリシタン館の屋上に、光る巨大天草地図が展示されました。この地図は、(社)天草宝島観光協会・本渡支部が「輝け！天草」と題して、太陽光などの紫外線を吸収して自然発光する“蓄光プレート”7,500枚を使用して製作したもので、プレートの一つひとつには市内の小・中学生7,405人のメッセージが書かれています。同21日には除幕式が行われ、来場者は暗闇に浮かび上がる幻想的な光の地図に見入っていました。

## 海岸漂着物の清掃活動

牛深

### 日本の宝島「天草」を守るために！

8月20日から同22日まで、関東・関西地域の大学生125人が、牛深町の海岸に流れ着いた漂着物の清掃活動を行いました。これは、国際ボランティア学生協会が実施しているもので、今回で3回目。期間中は猛暑の中、地元の住民や各種団体もいっしょになって清掃を実施。また、同22日には魚のさばき方教室や地元住民との交流会も開かれ、世代を越えて交流を深めていました。参加した大学生は、「来年もぜひ来たい」と話していました。



▲清掃活動を行う大学生たち



▲パラグライダーで空の散歩を楽しむ愛好者

## 倉岳からのパラグライダー人気再燃

倉岳

### 青空の中を優雅に遊覧飛行

天草の最高峰“倉岳”から飛ぶパラグライダーが、クチコミで評判が広まり再び人気を呼んでいます。同山の8合目付近にある、16年前に整備された出発基地からは、多いときで約10基が空中を飛び交い、愛好者らは「風に乗って山頂よりも高く舞い上がったときの海や島々の景色は最高」、「西日本でもこれだけ良い条件がそろった基地は珍しい」など大絶賛。一方、地元住民も真っ青な空をカラフルなパラグライダーが飛ぶようすに目を細めていました。

## 熊本県子ども会連合会球技大会

本渡

### 天草市勢が強さを発揮

8月22日、本渡中学校体育館・グラウンドで「平成22年度熊本県子ども会連合会球技大会」が開かれ、ソフトボール競技・ビーチボールバレー競技に県内の各都市から合計21チーム・330人が参加しました。同大会は、青少年の健全育成を目的に開催。市内からは各競技にそれぞれ4チームが出場し、日ごろの練習の成果を発揮。ソフトボール競技で五和町の手野子ども会、ビーチボールバレー競技では牛深町の茂串子ども会がともに優勝しました。



▲ソフトボール競技のようす



▲児童にボールの打ち方を教える参加者

## 高齢者と小学生とのグラウンドゴルフ大会

河浦

### ボールはあの旗を目ざして打つんだよ

8月20日、新合小学校グラウンドで、高齢者と小学生とのグラウンドゴルフ大会が行われました。これは、新合地区振興会が、高齢者と小学生との交流を目的に実施しているもの。大会では、今回初めての挑戦となる児童たちが、ボールをうまく打てない、目当ての場所に転がすことができないなど悪戦苦闘。しかし、ベテランの優しい手ほどきで徐々に上達し、最後はあわやホールインワンになる場面も見られるなど、大いに盛り上がっていました。

天草養護学校（本町）

「秋」

高等部1年 岩永 喜幸 よしゆき

秋が来る  
もみじが紅くなる ちる運命と知らずに  
日がかけるのが早くなる  
秋が来る  
たそがれ時にトンボが飛び 夜にスズムシた  
ちが鳴く  
松の種が地に落ちる  
秋が来る  
学び舎では 活気にあふれ 文化の祭りに  
祭ばやしに心はせ 秋の夜は更けていく  
やがて 冬の朝が来る

「がんばるぼく」

小学部4年 土肥 和明 かずあき



ぼくのわたしの学校部活 自慢



本気を形に

河浦中学校（河浦町）

3年 濱崎裕佳 ゆうか

河浦中学校生徒会では、「具現～本気を形に～」を今年のスローガンに掲げ、活動しています。「本気」を行動という形にするために、河中生156人一人ひとりの目標が書かれた1枚の旗を、毎日通る生徒玄関に掲示しています。これは、自分の目標を毎朝確認することで意識を高めるためです。1学期の体育大会では、全員の本気が輝き、すばらしい感動を味わうことができました。大会の最後に、全員で歌った校歌は今でも忘れられません。これからも、河中生の誰もが、何ごとにも本気で取り組み、生徒全員でよりよい河浦中学校を作り上げていけるように努力したいと思えます。

宝島の健康

よさげ屋 よしげや

椎木 静子 さん しずこ  
(天草町下田南・91歳)



◆毎日の楽しみは？

体の調子に合わせて畑に行くようにして、草引きなどをするのが楽しみです。きれいになった畑を見たらうれしくなります。また、天気の良い日には本をゆっくり読むのも好きですね。

◆健康の秘けつは？

自家製の無農薬野菜を食べることや畑で体を動かすこと。また、週に2回下田温泉に行っています。足腰の疲れも取れますし、知り合いの人に会うと話しはずみ、心も若返るようです。



長井 弥栄 さん やしか  
(御所浦町牧島・19歳)

地元で魚を養殖する仕事をしています。趣味は星を眺めたり、紅葉を見たりして季節を感じる。また、地元のサッカーチームに所属していて、いろいろな大会に出場していますので、練習試合の申し込みなど大歓迎です。仕事できれいにやけた黒い肌がとても自慢です。



地域の皆さんに見守られて

有明東保育所（有明町）

有明東保育所（田中恵子所長・全園児35人）では、「じょうぶな身体・元気な子・明るくやさしくすなおな子・みんなと仲良く遊べる子」を目標に、子ども一人ひとりを大切に、保護者や地域に愛され信頼される保育所を目指しています。また、子育て支援センターも併設しており、毎週火曜日にはたくさんの親子が楽しく参加しています。園では、お年寄りといっしょになって芋植えやこっぱ作り体験などのほか、先日は地球温暖化防止活動推進員の松本憲一さんと、自然の歌を歌いながら地球環境について考えました。このように、地域の皆さんにいろいろなことを教えてもらいながら、子どもたちは大きく育っています。



いつも笑顔いっぱいの園を目指して

愛隣保育園（亀場町）

愛隣保育園（坂本馨園長・全園児121人）では、キリスト教の精神に基づいて教育を行っています。特に、子どもの年齢に応じて自然な発達を促していくためのモンテッソーリ教育に力を入れており、子どもたち一人ひとりの個性を生かせる陶芸や工作などの製作を積極的に実施し、各クラスで毎日コツコツとがんばっています。もちろん、楽しみも盛りだくさんで、時期に合わせてキャンプ、遠足、運動会、秋祭りなどを行い、いつも子どもたちの笑顔でいっぱい。これからも、子どもといっしょに楽しみ、喜びあい、「愛隣保育園で良かった」と心から思ってもらえるようなサービスの提供を念頭に置いていきます。



松本憲一さんや地域の皆さんといっしょにハイ・ポーズ!

地域づくりコーナー

人が動く 地域が動く 天草が動く

安心して老後を迎える 地域づくりを目標に！

中田地区振興会（会長 森下 毅 つよし）

中田地区振興会は、「美しく豊かで活気のある中田づくり」をスローガンに、住民主体のまちづくりを推進しています。毎年8月14日には、中田夏祭りを開催し、今年も多くの来場者でにぎわいました。また、自然環境の改善にも取り組んでおり、あちらこちらの川辺では蜚が飛び交い、川にはフナやメダカが元気に泳ぐ姿が見られるようになりました。一方、年々高齢化が進み子どもの数も減少する中、生活必需品を調達するための商店がなくなる危機にあります。そこで、「どがんかせんばいかん」との思いから、現存店舗の存続と昔の御用聞き制度の復活を思い立ち、県や市が行う「高齢者が活躍する地域コミュニティ」



▲夏祭りのようす

高齢者の皆さんから感じた多くの“絆”

天草市長 安田 公寛



9月は市内の各地で開催された敬老会をはじめ、熊日金婚夫婦巡回表彰、還暦野球九州大会、あまくさシルバーファッションショーなど、高齢者の皆さんが主役のイベントがめじろ押しでした。

私もそのうちのいくつかに出席させていただきましたが、どの会場でもたくさんの明るい笑顔にお会いすることができました。ねぎらいや叱咤激励をいただきましたが、新聞やテレビなどで高齢者にまつわる暗い話題が連日のように報道される中で、お元気な高齢者の皆さんに囲まれ、正直少しホッといたしました。

まだ現役で仕事をされている人、散歩やグラウンドゴルフ、健康体操や家庭菜園づくりなど、健康づくりや趣味を日課にしている人がたくさんおりましたが、お話しをうかがった中で感じたことは、皆さんが夫婦や家族はもちろんのこと、人と人、地域社会とのつながり、“絆”というものをとても大切にされており、そのことが現在の生活につながっているのではないかと思います。

表彰式に参加された金婚夫婦の皆さんの笑顔は、泣いたり笑ったりご苦労が多かったかもしれない半世紀の“絆”の証ではないでしょうか。



煌めく人々たち

自分らしい生き方を“陶芸”に託す

高木 健多 さん (栄町・23歳)

栄町に住む高木健多さん。毎年開かれる県下最大級の陶磁器展『天草大陶磁器展』の催しのひとつ、陶磁器の島AMAKUSA陶芸展において、昨年出品したとうふうが見事グランプリとなった。ふだんは、県の伝統的工芸品に指定されている「丸尾焼」の窯元に勤務している。もともと西合志町（現・合志市）の出身で、熊本市内の高校を経て福岡県にある家具デザイナーの専門学校に入学。同校を卒業してからは、アルバイトをするなどして暮らしている。そんな中、高校の同級生

でその後も親交があった窯元の息子さんから、丸尾焼で働いてみないかと誘われ「専門学校のとくに学んだものがあつたから」と、製陶の道に進むことを決めた。職場では製陶にかかる一連の作業に従事するほか、原料となる土の掘り出しや店頭での接客・販売業務など幅広くこなす。「陶磁器を作り始めて3年。自分はまだ与えられた仕事をこなす身です」と高木さん。グランプリの栄誉を手にしてもなお、謙虚な姿勢を崩さない。

一方、高木さんは同陶磁器展の期間中に行われる、空き店舗を利用した「街中ギャラリー」にも参加。短期間ではあるが、自分の店舗が持てるという経験に「今後、自分が独立を志していく中でとても貴重な体験。今年も参加するので、皆さんもぜひ見に来て欲しい」と話す。陶磁器をつくる仕事をすすめる人々から「陶芸家」へ。高木さんはすでにその一歩を踏み出している。

ハッピー BIRTHDAY パースデー 今日で1歳になります



福岡 愛梨 ちゃん  
大浜町  
父・亨さん  
母・憂美さん

佑斗お兄ちゃん大好き♡これからもういっぱい遊んでね♪



村田 良玖 くん  
五和町手野  
父・敬造さん  
母・和美さん

元気いっぱいのやんちゃなぼくをよろしくお願いします。



中尾 康介 くん  
八幡町  
父・雄策さん  
母・恩さん

お父さんとお母さんの宝物です。たくさん泣いてたくさん笑って！



松本 悠李 くん  
久玉町  
父・秋敏さん  
母・真由美さん

「牛深ハイヤ節」を踊るのが得意です。



玉木 さくら ちゃん  
東浜町  
父・聡一郎さん  
母・瞳さん

笑顔いっぱいおふる大好きっ子♡お父さんいつもありがとう!!



船津 伊吹 くん  
河浦町河浦  
父・喜昭さん  
母・倫子さん

ご飯が大好き！近所のお友だちいつも遊んでくれてありがとう。



池田 皓太 くん  
楠浦町  
父・定邦さん  
母・梨里子さん

みんなに見守られ、こんなに大きくなりました☆



鹿井 優心 くん  
御所浦町御所浦  
父・康雄さん  
母・里美さん

ここねえねが大好き♡パチパチとパイパイで笑顔をふりまくよ！



八杉 奈那 ちゃん  
港町  
父・信貴さん  
母・佐知子さん

お父ちゃん、凌司お兄ちゃん、いっしょにあんこ買いに行こうね。

11月で満1歳になるお子さんを募集します！  
●応募期限=10月12日(必着)。  
●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

読者のつぶやき



家族と車で山道を走行中、車内での話。「もう前ばってん、この辺でイノシシを見たっじゃない。今日は出てくるかな?」。…と話すそばからなんと！目の前を2匹のイノシシが横断!!あまりの偶然に車内は大爆笑。急ブレーキも間に合ってた良かった、良かったよ～。ペンネーム：おならふりっこ

今年の夏は本当に暑かった。夏祭りの準備も本当にたいへんでした。いっしょにがんばってくれたみんな、本当にありがとう！あとはみんなで打ち上げ旅行に行ってみただけだ♪  
みんな！来年もがんばろうね!!  
ペンネーム：黒豆島は大事



皆さんからのお便りを募集しています!

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、ぜひご応募ください。原稿は100字程度で、応募者多数の場合は選考のうえ掲載します。

※表記などを統一するため、趣旨を変えず文章を直すこともあります。

▶応募期限=10月12日(必着)。  
▶応募方法=寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、性別、電話番号を記入し、〒863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。



～里芋のでんがく～

材 料 (約4人分)

里芋 (皮ごと) …… 800 g  
みそ …………… 100 g  
砂糖 …………… 80 g

作 り 方

- ①里芋を皮ごとゆで、皮をむく。
- ②火にかけてフライパンに里芋を入れ、みそ、砂糖で味付けをする。  
※お好みでこしょうを入れてもよい。
- ③里芋とみそがよくからまったら皿に盛り付ける。



里芋のでんがくは、倉岳町浦地区の郷土料理として昔から伝わっているものです。皮がむきにくいような小さな芋がとれたときによく作られており、昔の人が食べ物大切に最後まで使い切る知恵が伝わってきます。作り方も簡単です。皆さん、ぜひお試しください。

提供：市食生活改善推進員協議会

天草アーカイブズ収蔵

**思い出写真館**

～通詞島～

通詞島(五和町二江)は、南蛮貿易が盛んなころ、島に通詞(通訳)が住んでいたことから、この名称になったともいわれています。通詞大橋が昭和50(1975)年に完成するまでは、渡し舟が対岸への移動手段として利用されていました。



手こぎ舟で海を渡る島民 (昭和30年撮影)



通詞大橋と電力発電用風車のある風景 (平成22年8月撮影)

【問い合わせ先】天草アーカイブズ(五和支所内) ☎0969-5515

先日、五和町にイルカウォッチングの取材へ。当日は天気に恵まれ、波も穏やかで絶好の日より。ただ、すっかり忘れていました、船酔いの存在を…。はじめは「元氣なイルカを撮るぞ!」と息巻くも、みるみる青色吐息に。それでも海に迷惑をかけなかったのが、唯一の救い…です。【素】

今年の夏はとにかく暑かったですね。近ごろは、夏にエアコンをあたり過ぎて「夏バテ」ならぬ「秋バテ」になる人が増えているそう。皆さん、体調など崩していませんか。私はというと、夏の疲れをいやしに旅行に行きたいなと思うも、締め切りに追われ今も原稿とにらめっこです。【海】

家には2匹の猫がいます。その猫は親がある程度大きくなって連れてきたので、なかなかつきません。「せり込み猫」ではないのに、近寄るとチュチュンこつ逃げます。最近、警戒心が強い猫にエサをやりながら、駆け引きに一喜一憂している。寅年生まれのニャン太郎です。【凡】



編集  
後記